

パブリックコメント等による意見取りまとめ結果の概要

計画名	北海道感染症予防計画（素案）	
意見募集内容	<p>ホームページ等で計画素案等を公表し、電子メール、ファックス及び手紙により意見募集 (期間：平成29年12月15日～平成30年1月15日) 50件 (個人：49件、団体：1件)</p> <p><意見に対する道の考え方の区別件数></p>	
区分	道の考え方	件数
A	意見を受けて素案を修正したもの	5件
B	素案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	26件
C	素案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの	2件
D	素案に取り入れなかったもの	16件
E	素案の内容についての質問等	1件
主な意見 (要旨)	<p>【区分A：意見を受けて素案を修正したもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権尊重や配慮への項目として、新規に付加されているものがないだけでなく、現計画で記載のあった「感染症の患者等を社会から切り離すといった視点ではなく」という表現が削除されており、改善を求める。 (同様の意見：2件) ○ 「はじめに」に記載しているS D G s（持続可能な開発目標）は、国連で採択された地球規模のものであり、北海道の計画とは質的に異なっている。道の計画としての趣旨・目的をより明確にすべきである。 (同様の意見：1件) <hr/> <p>【区分B：素案と意見の趣旨が同様と考えられるもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道民が感染症について正しく理解し、判断し、対処できるようにしてほしい。 (同様の意見：4件) ○ 予防接種は、その有効性及び安全性について十分な検討の上で実施されるべきものであり、また、その実施に当たっては、被接種者に対し適切な情報提供がなされるべきである。 (同様の意見：20件) <hr/> <p>【区分C：素案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型インフルエンザ等対策特別措置法に関するワクチン接種においても、「集団接種」について記載があるが、接種による被害が起きないよう、自治体において十分な監視体制を講じる必要性があるものと考える。 ○ 「結核が依然として国内最大の慢性感染症」との記載について、現在は不治の病ではなくなっていることなどから、結核が脅威であるとイメージされないようにすべきである。 	